

Press Release
報道関係各位

三井住友海上火災保険株式会社
株式会社キッズシティー・ジャパン

三井住友海上が「消防署」パビリオンを出展

2009年3月27日 ららぽーと甲子園に「キッズニア甲子園」開業

株式会社キッズシティー・ジャパン(本店:東京都千代田区、代表取締役社長兼CEO:住谷 栄之資、以下キッズシティー・ジャパン)と三井住友海上火災保険株式会社(本店:東京都中央区、取締役社長:江頭 敏明、以下 三井住友海上)は、「キッズニア甲子園」への「消防署」パビリオンの出展に関し、合意いたしました。この合意により、三井住友海上は、キッズニア・オフィシャルスポンサーとして参画する「消防署」パビリオンを、こども達の笑顔であふれるようなパビリオンに育ててまいります。

1. 「消防署」パビリオンの概要

「消防署」パビリオンでは、こども達が消防士としてのトレーニングを積み、火災現場での放水など、消火活動を体験することで、消防士という仕事の責任や防火の大切さを学ぶことができます。

三井住友海上は、このパビリオンのアクティビティを通じて、次世代を担うこども達に火災を起こさなければ安心して安全な生活ができるという“防災の大切さ”を身につけて欲しいと考えています。



※消防署パビリオンの様子



※消火活動の様子

2. キッズニアのコンセプト

キッズニアのコンセプトは、「エデュケーション(学び)」と「エンターテインメント(楽しさ)」を合わせた『エデュテインメント』です。

施設内は現実社会のほぼ2/3のサイズで造られ、リアルな街並みを形成します。こども達は街の中で様々な職業や習い事を体験することで、楽しみながら社会や職業・経済を学ぶことができます。

キッズニアは、その地域の国民性や文化、産業・経済構造までを、実社会に限りなく近く再現することで、こども達にとって最高の社会体験の題材となることを目指して常に進化・変化しております。

三井住友海上、キッズシティー・ジャパンの会社概要およびキッズニア甲子園の施設概要については次頁をご覧ください。

※本リリースは日銀金融記者クラブ、関西レジャー記者クラブ、神戸経済記者クラブにて同様の内容をご案内させていただいております。

◆三井住友海上 会社概要

社 名:三井住友海上火災保険株式会社
本社所在地:東京都中央区新川 2-27-2
代 表 者:取締役社長 江頭 敏明
設 立:1918年10月21日
U R L: www.ms-ins.com

◆キッズシティージャパン 会社概要

社 名:株式会社キッズシティージャパン
本店所在地:東京都千代田区有楽町 1-7-1 有楽町電気ビル北館 2 階
代 表 者:代表取締役社長兼CEO 住谷 栄之資
設 立:2004年9月27日
資 本 金:2億5,200万円

◆キッズニア甲子園 施設概要

施 設 名:キッズニア甲子園(KidZania Koshien)
所 在 地:兵庫県西宮市甲子園八番町 1-100「ららぽーと甲子園」
開 業 予 定 日:2009年3月27日
延 床 面 積:約1,800坪(約6,000㎡)
パビリオン数:約50
年 間 来 場 者 数:年間約80万人(推定)
休 業 日:不定休
U R L:キッズニア甲子園オフィシャルサイト
www.kidzania.jp/koshien/



キッズニアとは:

施設内には、消防署、病院、運転免許試験場、銀行、飛行機、ラジオ局、理容店、ピザショップなどのパビリオンが立ち並び、こどもの街を形成します。1999年に誕生したメキシコのキッズニアは、年間来場者数82万人、227日間満員記録を樹立するなど、そのユニークなコンセプトが社会的にも高く評価されています。2006年10月5日に、東京のアーバンドックららぽーと豊洲内に日本で初めてオープンした「キッズニア東京」は、2006年10月のオープン以来、2008年9月までに約175万人を超える来場者を迎えました。大成功を収めているメキシコでの運営システムをベースとし、61社(※1)ものスポンサー企業に支えられながら日本の子ども達をとりまく環境や「こども議会」(※2)のアイデアなどを反映し、未来の社会を担う子ども達のためのエデュテインメントタウンを目指しています。

※1 2009年2月末現在のキッズニア東京スポンサー数

※2 こどもが主役の街「キッズニア」をより良くするために活動しているグループ

<本件に関する問い合わせ先>

三井住友海上火災保険株式会社
広報部 松尾、渡辺

株式会社キッズシティージャパン
広報部 上田、中田